
都立技術専門校のインターンシップ

—製靴科での紹介—

東京都立足立技術専門校台東分校

〈インターンシップとは？〉

東京都は、技術専門校を対象に、平成13年度からインターンシップ事業を開始しました。

インターンシップとは、生徒が訓練の一環として企業の現場などで「自分の学習内容や進路などに関連した就業を体験する」ことです。インターンシップは、すべての専門校生にとって、職業の選択、将来の生き方を考える上で有意義なため開始しました。

(1) メリットについて

まず、受入企業等のメリットとしては、

- ①企業のPRやイメージアップが図れる。
- ②技術専門校に対して 受入企業や関連業界の要望を伝えることができる。
- ③意欲的に仕事に取り組む人材が発掘できる。

次に、生徒のメリットは、

- ①実際の業界の実態や技術に触れることで、学習意欲を起こさせる。
 - ②職業選択能力や働くことに対する望ましい見方・考え方を育てる。
 - ③さまざまな世代の人たちとのコミュニケーション能力が高まる。
- ことです。

(2) 実施の概要について

- ①実施対象者は、参加を希望する都立技術専門校の生徒です。
- ②受入企業は、訓練内容に見合った業務等を行っていて、賛同をいただいた企業です。
- ③受入企業等が受入れにあたって要した経費は企業負担となります。
- ④生徒は、万一の災害に備えるための訓練生災害傷害保険及び損害賠償保険に加入（本人負担）させます。
- ⑤実施時期は、基本的な訓練が終了した時期で、期間は10日間以内です。
- ⑥時間帯は、企業の昼間における就業時間の範囲内で、8時間以内となっています。

(3) 実施の留意点について

- ①インターンシップは、訓練の一環として実施していることから、受入企業等において賃金やアルバイト料等を支給する必要はありません。
- ②インターンシップに名を借りた早期の採用活動は行わないよう留意していただきます。
- ③安全の確保や事故などの防止に十分注意していただきます。

〈平成13年度の台東分校の活動概要〉

(1) 期間等の決定について

平成13年度における台東分校のインターンシップは、基礎的な製くつ訓練が終了して、応用訓練が進み 就職予備相談の事前の時期が良いと判断しました。11月上旬を第一候補に、受入企業や生徒の状況に応じて時期及び期間は柔軟に対応することにしました。受入企業の選定は、東都製靴工業協同組合を通じて、受入企業を紹介していただきました。初めて行うので、参加生徒の希望も聞きながら、9月末より10月上旬に企業訪問を行い、「インターンシップ実施承諾書」等の必要書類をいただき、実施の運びとなりました。



(2) 参加状況について

生徒21名のうち、参加希望者は18名いて、書類等手続きをしましたが、1名が期間中病気となり、最終的に17名の参加となりました。

インターンシップについての参加生徒の考え方は、参加の前と後では、ずいぶんと違ったように思えます。

期間中は、教職員が現場訪問をして、参加現場を見たり、企業の指導者から生徒の参加状況を聞かせていただきました。

(3) 受入企業名（あいうえお順）

- ・(有)ウィードジャパン
- ・(株)大仁商店
- ・(有)香取義肢
- ・(株)キカックス
- ・サンダー商事(株)
- ・(有)サン三国製靴
- ・(株)シシリアシューズ
- ・(有)シャポージャパン
- ・早川製靴工業(株)
- ・(株)リリーコーポレイション

・(株)ロマン

お蔭様で、インターンシップに参加希望をした18名は、この春に全員が、靴関連企業に就職できました。有難うございました。

〈今年度の協力依頼〉

台東分校では、平成14年度も関係団体や関係機関と連携して、多くの生徒がインターンシップを体験し、就業の実態に触れることにより、自己の適正を自覚し、就職活動に反映させることを目指して、インターンシップの実施に取り組んでいきたいと計画しています。

インターンシップは、地域や産業界そして関係者の皆様のご協力があって初めて実施できるものです。受入企業の方々をはじめ、関係団体・関係行政機関の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

台東分校生のインターンシップの受け入れや実施については、直接台東分校までお問合せください。〔電話：03（3843）5911〕